

## ハリケーンの基礎知識

### 1. ハリケーンの特徴等

#### (1) 概要

広義の熱帯低気圧(Tropical Cyclone)とは、一般に熱帯から亜熱帯の海水面で発生し、多数の積乱雲がまとまって渦状（北半球では反時計回り）となった構造をもつ低気圧のことであり、激しい風雨等を伴って大きな被害をもたらします(日本の台風もその一例です。)

このうち、北半球の国際日付変更線からグリニッジ子午線までの領域において、地上での1分間の平均最大風速が64ノット(74mph, 119km/h)以上となるまでに発達したものが、「ハリケーン」と呼ばれています。

通常、北緯5～30度において発生した熱帯低気圧は、西に移動した後、上空の風の影響を受けて北～北西に進路を変え、さらに北緯30度付近に至ると北東方向に進行していきます(図1参照)。これまでに、米国の南部から東海岸にかけての沿岸部、特にフロリダ半島やミシシッピ・デルタ地帯に重大ハリケーン(Major Hurricane \*)が多数上陸しています(図2参照)。

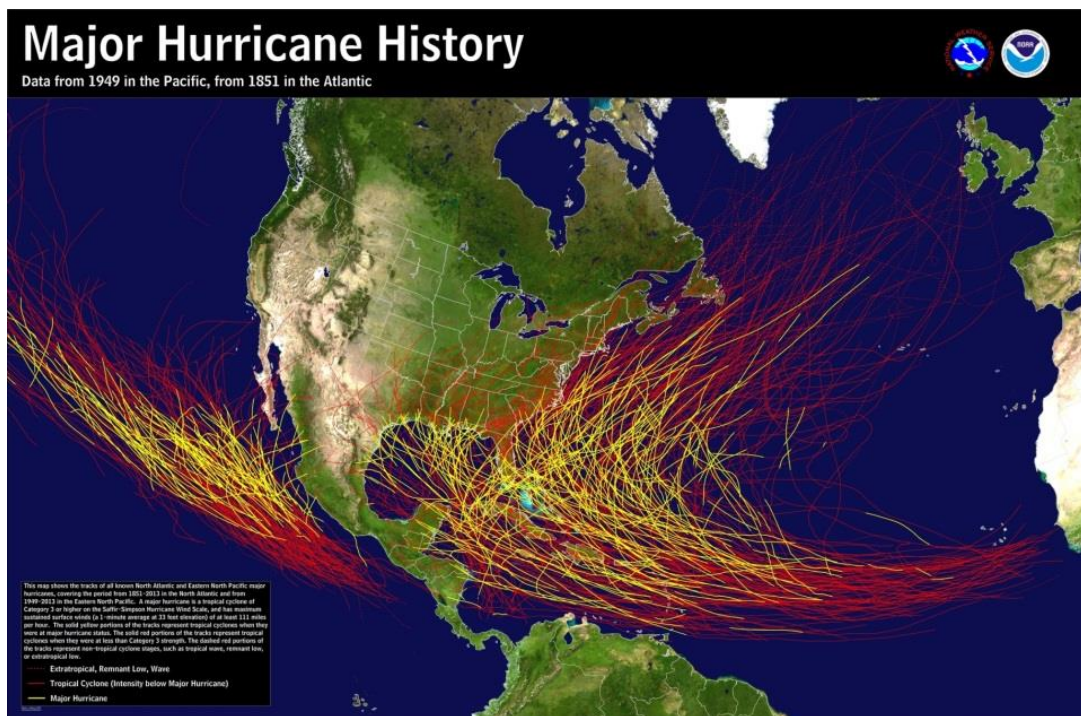


図1 北大西洋(1851-2013年)及び北東太平洋(1949-2013年)における熱帯低気圧の進路  
⇒ 黄：重大(カテゴリー3以上)ハリケーンの進路、赤：その他の熱帯低気圧の進路

※出典：NHC, “Major Hurricane History”

\*注：米国では、ハリケーンのうち生命や財産を特に脅かすカテゴリー3以上のものを”Major Hurricane”と呼ぶことがあります。一般的に日本では、これを「大型ハリケーン」と翻訳していますが、日本の台風には、風速15m/s以上となる強風域の半径に基づく「大きさ」による区分もある一方、ハリケーンは、専ら最大風速によってのみ区分されていることから、この資料では、ハリケーンの「大きさ」との誤った印象をもたらしかねない「大型」という表現ではなく、“Major”という語彙に込められた「威力」や「被害の大きさ」といった意味に着目して「重大ハリケーン」という表現を用いています。(例：2004年8月にフロリダ半島南西部に上陸したハリケーン「チャーリー」は、「重大ハリケーン」の一つですが(上陸時：カテゴリー4)、猛烈な暴風を伴った反面、大きさとしては非常に小型でした。)

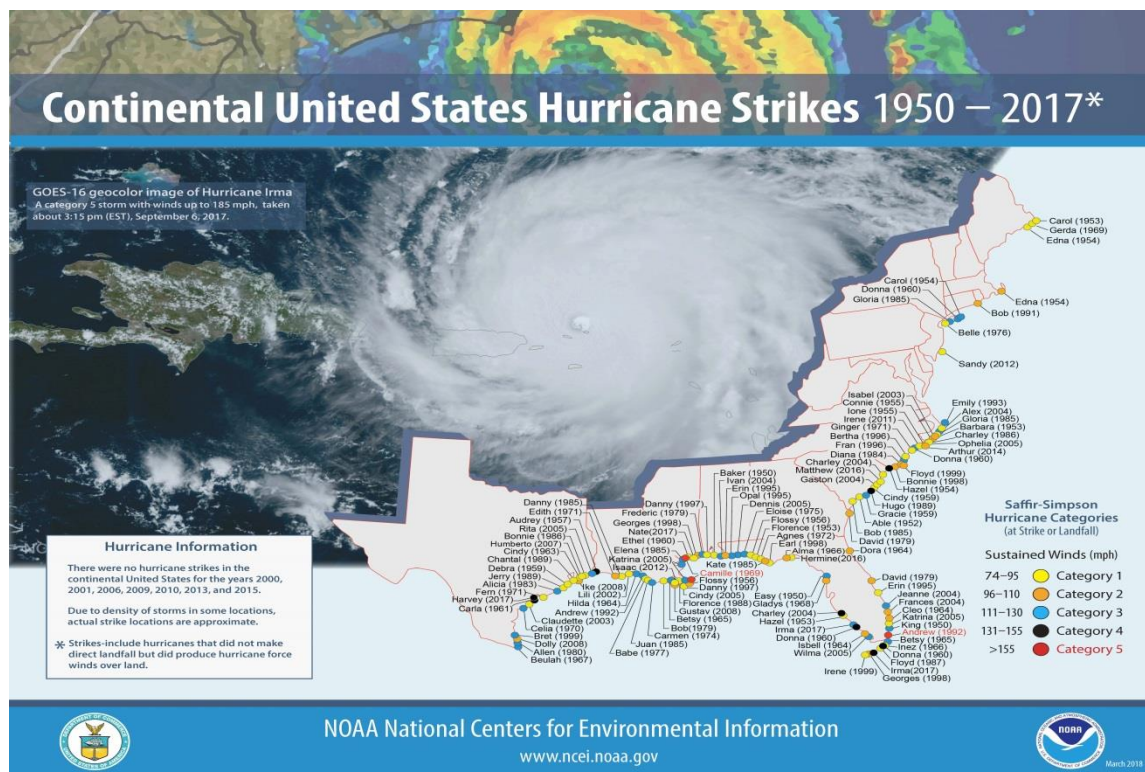


図2 米国本土におけるハリケーン上陸・最接近\*地点 (1950-2017 年)

⇒ ○の色は規模(黄(カテゴリー 1)～赤(カテゴリー 5))。

※出典: NCDC, “1950-2017 CONUS Hurricane Strikes”

\*注: 図2の上陸・最接近(strike)地点とは、ハリケーン中心部の最大勢力の影響が同所に及んだことを意味し、日本のように中心部が上陸したもの以外も含まれています。

## (2) 米国における熱帯低気圧及びハリケーンの区分

米国では、広義の熱帯低気圧(Tropical Cyclone)をその勢力によって5段階(カテゴリー 1 ～ 5)に区分する「サファ・シンプソン・ハリケーン・スケール」(Saffir-Simpson Hurricane Wind Scale)を用いて以下のとおり区分しています(表1 参照)。この区分は、最大風速(遮蔽物のない地上 10m の地点における 1 分間の平均最大風速\*)に基づくものであり、それぞれの区分毎に発生し得る財産的被害の例が示されています。

区分		最大風速		(参考) 日本の気象庁による 台風の「強さ」の区分	被害の概要
		mph (マイル/時) ※ 1分間平均	m/s (メートル/秒) ※ 1分間平均	m/s (メートル/秒) ※ 10分間平均	
(亜)熱帯低気圧 ※ 広義	熱帯低気圧 ※ 狭義 (TD, Tropical Depression)	38以下	17以下	熱帯低気圧	—
	熱帯暴風雨 (TS, Tropical Storm)	39～73	18～32	台風 (約17以上～33未満)	
	ハリケーン (カテゴリー 1)	74～95	33～42	強い台風 (33以上～44未満)	非常に危険な風による相当の被害が発生
	ハリケーン (カテゴリー 2)	96～110	43～49	非常に強い台風 (44以上～54未満)	極めて危険な風による大規模な被害が発生
	ハリケーン (カテゴリー 3)	111～129	50～57		甚大な被害が発生
	ハリケーン (カテゴリー 4)	130～156	58～69	猛烈な台風 (54以上)	破滅的な被害が発生
	ハリケーン (カテゴリー 5)	157以上	70以上		破滅的な被害が発生

表1 米国における熱帯低気圧及びハリケーンの区分

※出典: NHC, 気象庁

\*注: 日本の台風には、最大風速による「強さ」の区分以外にも強風域(風速 15m/s 以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲)の半径に応じた「大きさ」の区分が存在しますが、ハリケーンについては、最



大風速による「強さ」によってのみ区分されています。

※注：「最大風速」については、日本では国際基準を採用して10分間の平均最大風速を使用していますが、米国では1分間の平均最大風速を使用しています。一般的に日本の最大風速の方が米国の最大風速よりも小さい値となるとされています（目安：米国の最大風速×0.88＝日本の最大風速）。

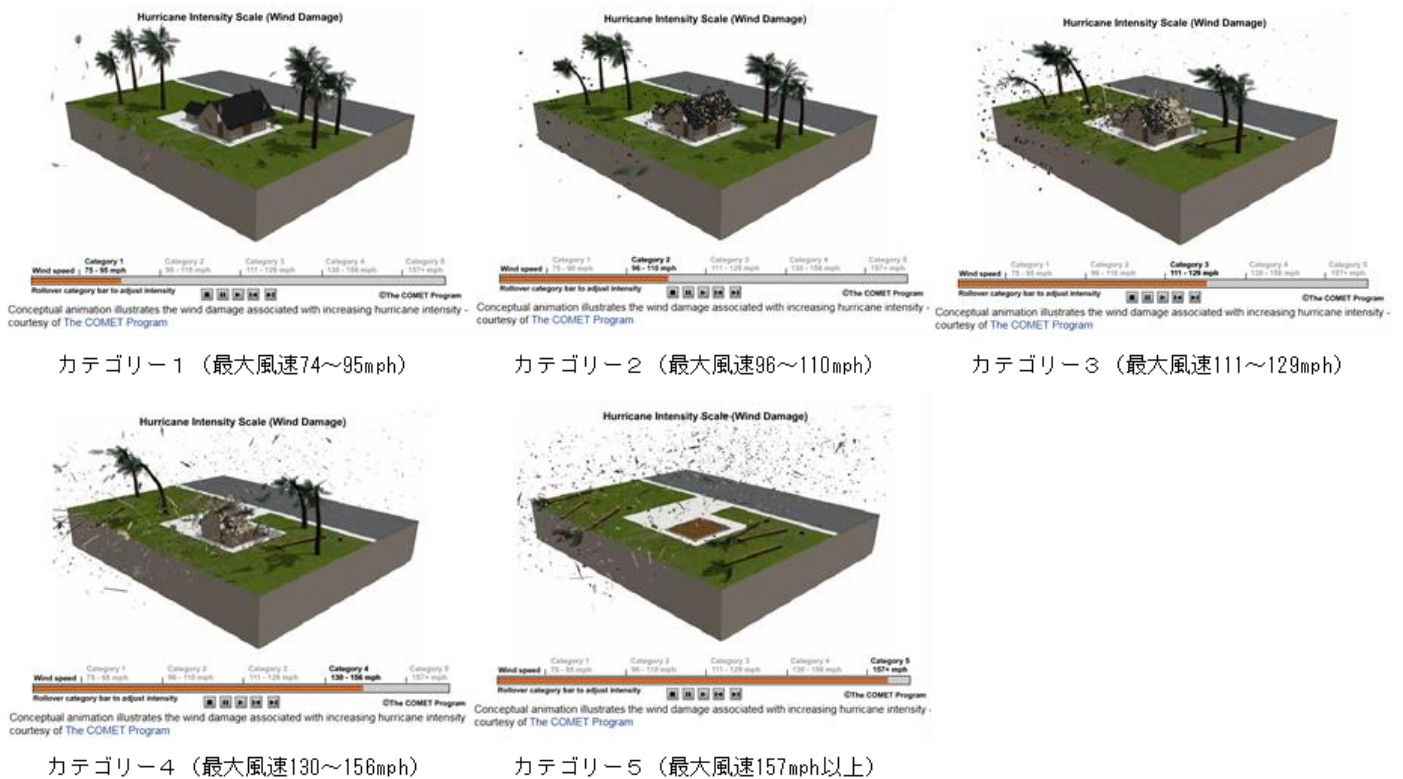


図3 ハリケーンのカテゴリーごとの家屋被害のイメージ

※出典：NHC, “Saffir-Simpson Hurricane Wind Scale”

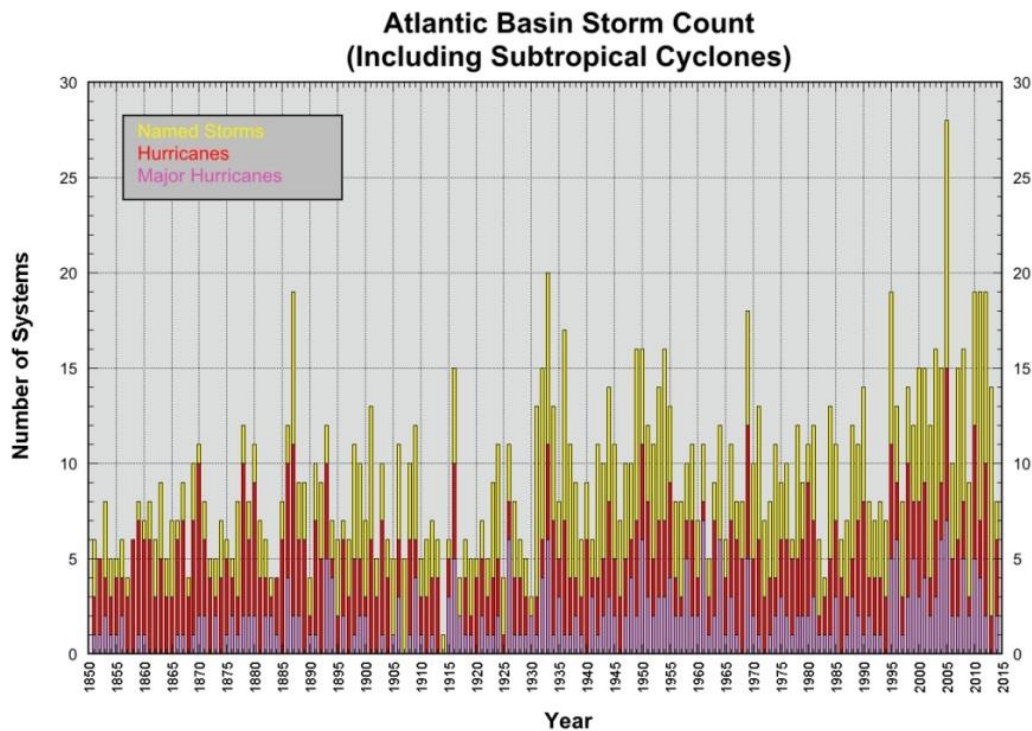


図4 大西洋海域における(亜)熱帯低気圧の発生数(1850-2014年)

⇒ 黄：(亜)熱帯低気圧の数、赤：うちハリケーンの数、紫：うち重大ハリケーンの数

※出典：NHC, “Named Cyclones by Year”

RANK	HURRICANE	YEAR	CATEGORY MINIMUM	
			(at landfall)	Millibars
1	FL (Keys)	1935	5	892
2	CAMILLE (MS/SE LA/VA)	1969	5	909
3	KATRINA (SE LA, MS)	2005	3	920
4	ANDREW (SE FL/SE LA)	1992	5	922
5	TX (Indianola)	1886	4	925
6	FL (Keys)/S TX	1919	4	927
7	FL (Lake Okeechobee)	1928	4	929
8	DONNA (FL/Eastern U.S.)	1960	4	930
8	FL (Miami)/MS/AL/Pensacola	1926	4	930
10	CARLA (N & Central TX)	1961	4	931

表2 過去米国本土に上陸した重大ハリケーンのうち最低中心気圧上位10位(1851~2010年)  
⇒ 表の項目(左から)は、順位、ハリケーン名、年、上陸時のカテゴリー、最低中心気圧(ミリバール)を示します。フロリダ州(FL)が影響を受けたハリケーンが過半数を占めています。

※出典：NOAA Technical Memorandum NWS NHC-6, “The Deadliest, Costliest, and Most Intense United States Tropical Cyclones from 1851 to 2010 (and Other Frequently Requested Hurricane Facts)” の” Table 4. The most intense mainland United States hurricanes ranked by pressure, 1851-2010 (includes only major hurricanes at their most intense landfall)” (抄)

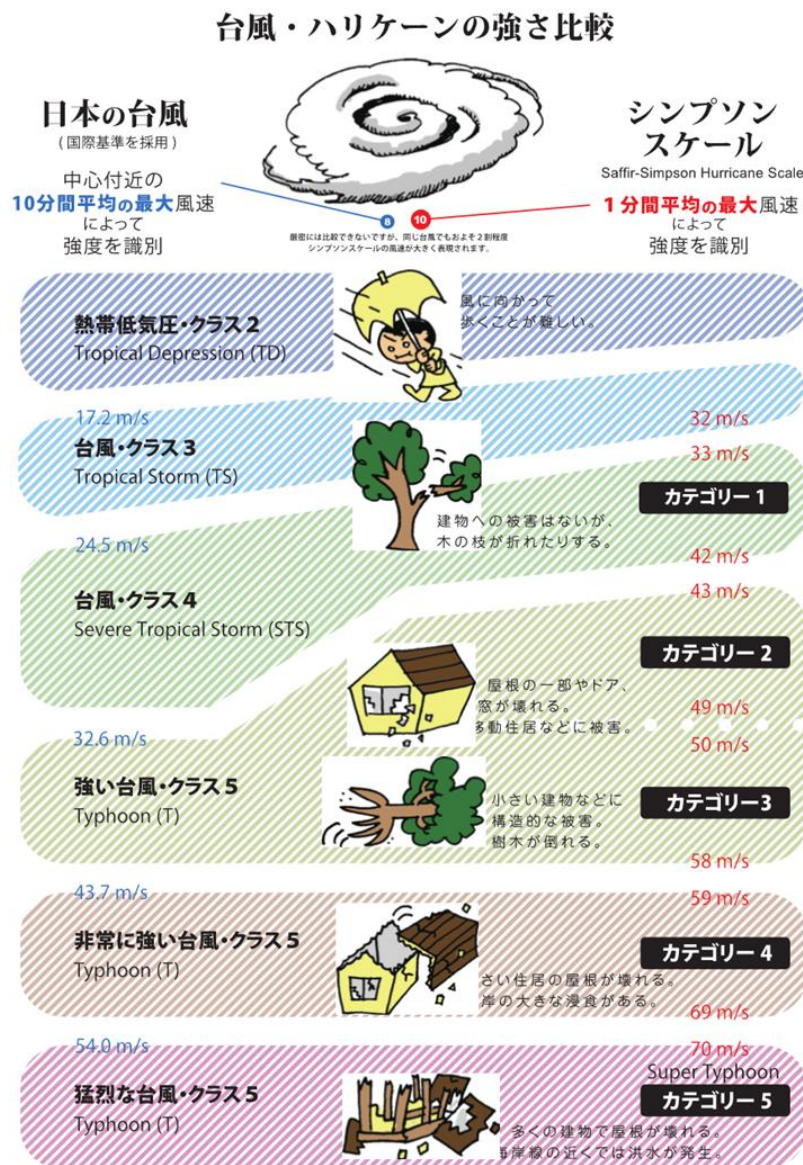


図5 台風・ハリケーンの強さ比較

※出典：宇宙航空研究開発機構地球観測研究センター，“台風の一生を追う！”

### (3) 大西洋海域（大西洋・カリブ海・メキシコ湾）のハリケーン・シーズン

大西洋海域（大西洋・カリブ海・メキシコ湾）のハリケーン・シーズンは、毎年6月1日から11月30日とされており、その最盛期は8月中旬～10月下旬ころ（図6及び7参照）ですが、大きな被害をもたらすハリケーンは、同シーズン中のいつでも発生するおそれがある点にも十分留意する必要があります。

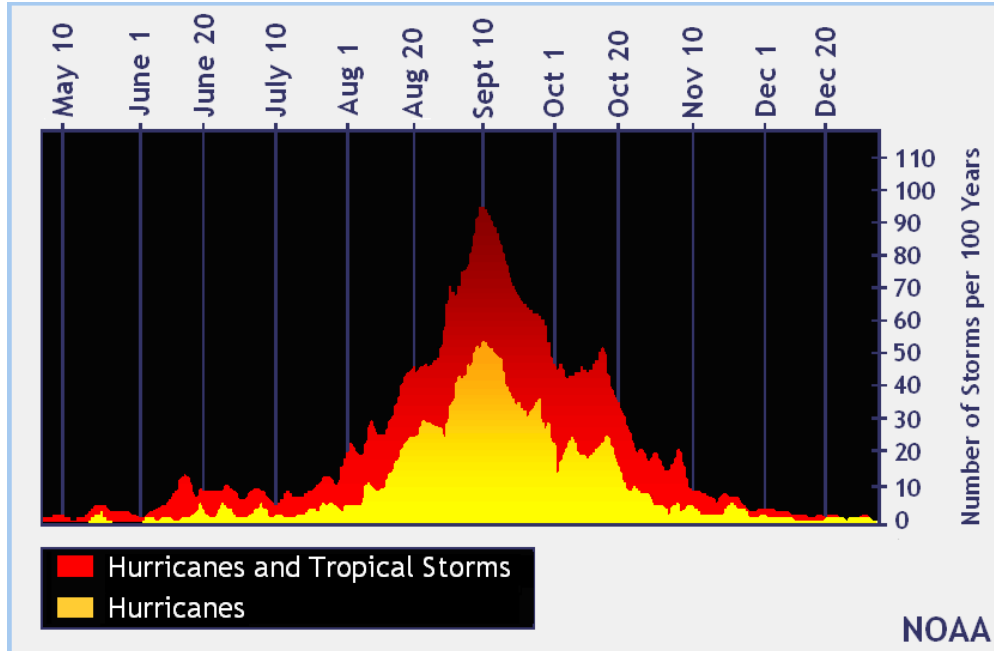


図6 過去100年間の熱帯暴風雨及びハリケーンの発生時期

⇒ 赤：熱帯暴風雨とハリケーンの合計個数、黄：うちハリケーンの個数

※出典：NHC, “Number of Tropical Cyclones per 100 Years”

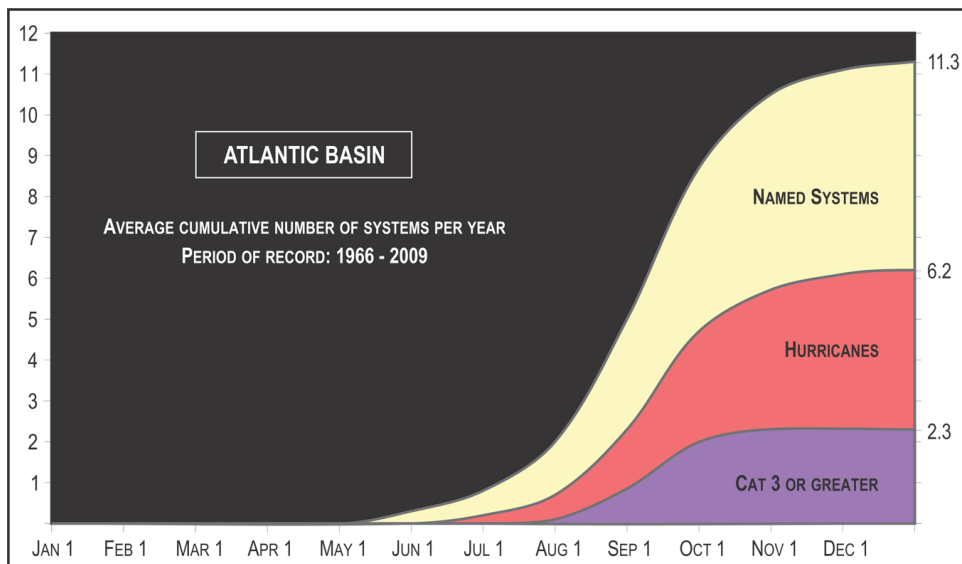


図7 大西洋海域における熱帯暴風雨の年平均累積発生個数(1966～2009年)

⇒ 黄：命名された熱帯暴風雨の個数、赤はうちハリケーンとなった個数、紫はうち重大ハリケーン（カテゴリー3以上）となった個数（例：9月初頭までの平均では、命名される熱帯暴風雨が4個発生（うち2個がハリケーン化、うち1個が重大ハリケーン化））

※出典：NHC, “The average cumulative number of Atlantic systems per year, 1966-2009”



#### (4) 大西洋海域におけるハリケーンの発生場所及び進路

大西洋海域のハリケーンは、その発生時期によって発生場所や進路に共通する傾向が認められます（図8参照）が、こうした傾向から大きく外れるものも存在する点に注意が必要です。

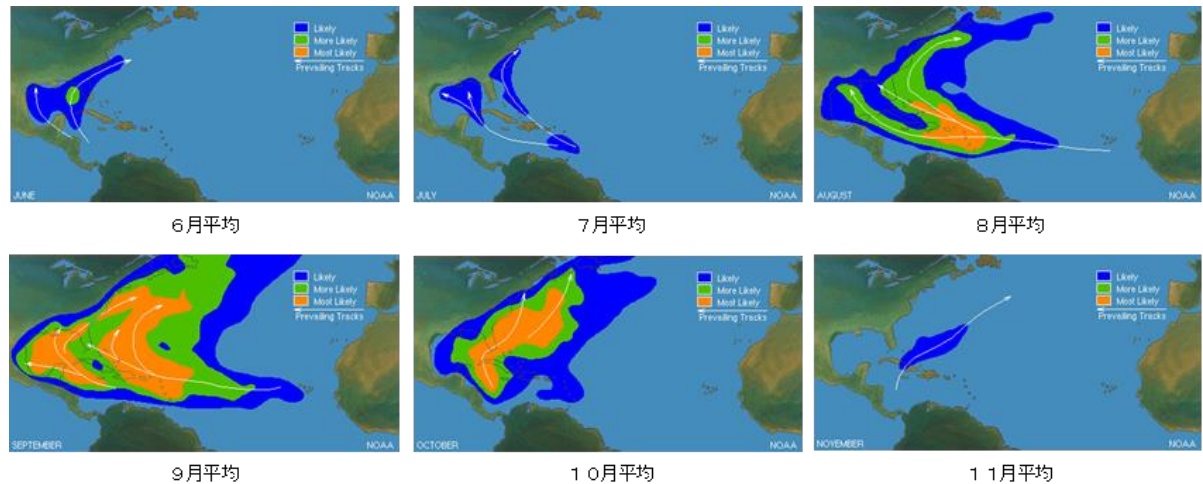


図8 大西洋海域におけるハリケーンの発生場所と進路に関する月毎の傾向

⇒ 白矢印：一般的な進路、着色箇所：発生予想地域（青→緑→橙の順に可能性が高まる）

※出典：NHC, “Climatological Areas of Origin and Typical Hurricane Tracks by Month”

#### (5) 米国本土沿岸部におけるハリケーンの上陸・最接近の頻度

どの程度の頻度で米国本土沿岸部の各地域にハリケーンが影響を及ぼす可能性があるのかを示したのが以下の図です（図9及び10参照）。特にフロリダ半島やミシシッピ・デルタ地帯が高くなっています。

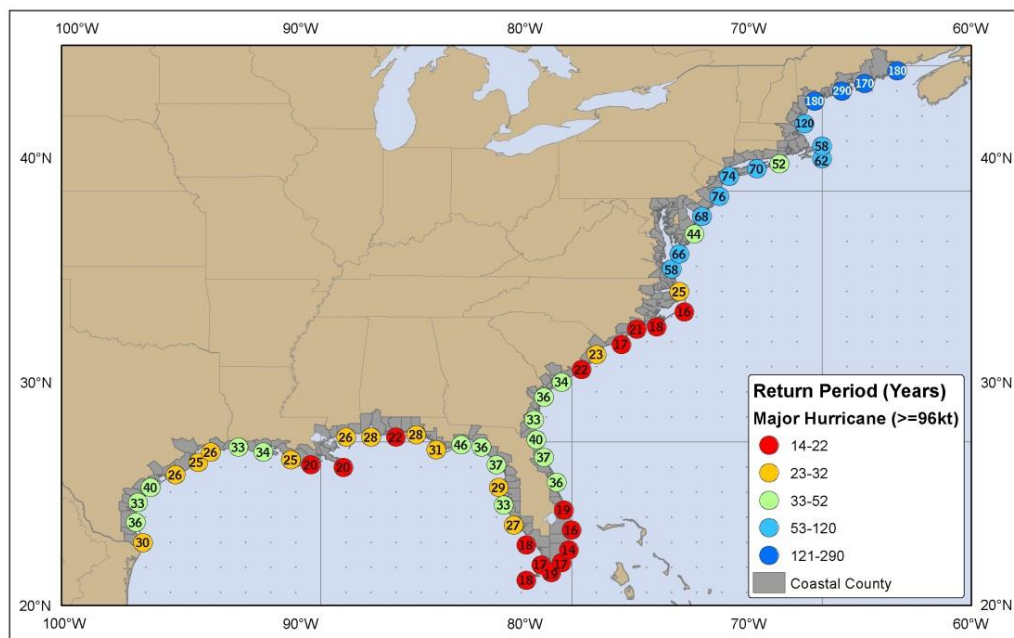


図9 米本土沿岸部における重大ハリケーンが50海里以内に接近する確率年

⇒ 確率年（○内の数値）は、過去平均して当該年数ごとに重大ハリケーンが同地点から50海里（92.6km）以内に接近したことを示し、○内の色は、確率年の高低を示します（青→緑→赤の順に可能性が高まる）。

※出典：NHC, “Estimated return period in years for major hurricanes passing within 50 nautical miles of various locations on the U.S. Coast”

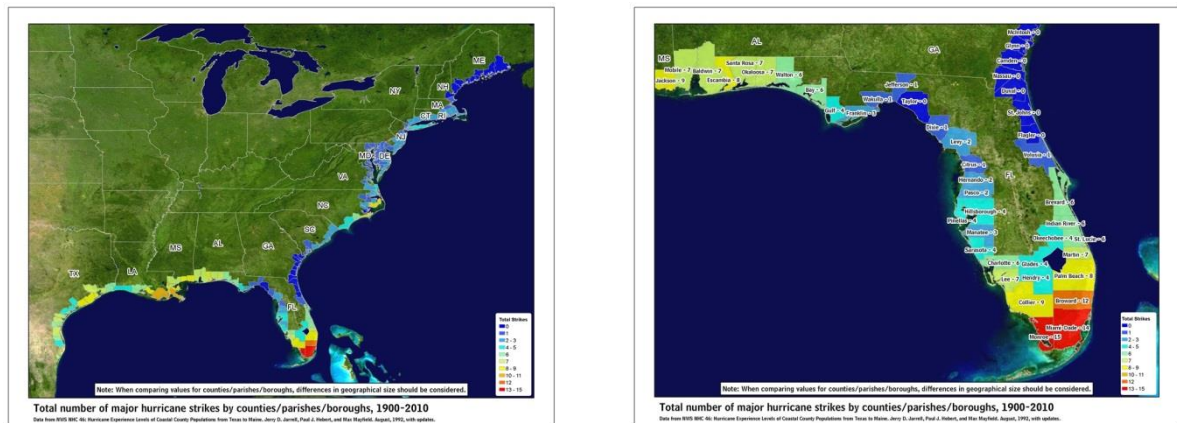


図 1 O 米国(左)及びフロリダ州(右)の郡単位での重大ハリケーンの接近・上陸数(1900～2010 年)

⇒ 色は、数値の高低を示します(青→緑→赤の順に数値が高くなる)。

※出典：NHC, “1900–2010 U.S. Major Hurricane Strikes” 及び同 “East Gulf”

## (6) 熱帯暴風雨・ハリケーンの名前

1953 年以降、米国国立ハリケーン・センターが大西洋海域の熱帯低気圧のうち、熱帯暴風雨(最大風速 39mph 以上)又はそれ以上にまで発達したもののについて、発生順に A～W までのアルファベット順に名前を付けています(シーズン中に熱帯暴風雨が 21 個(W まで使用)よりも多く発生した際には、ギリシャ文字をアルファベット順に使用します。)。この名前のリストには、以下の表のとおり 6 種類が存在し、毎年別々のリストを利用して一巡すると、また最初のリストに戻りますが、ある名前の熱帯暴風雨・ハリケーンが人的・物的に甚大な被害をもたらした場合には、その名前だけが別のものに変更されます。

2016	2017	2018	2019	2020	2021
Alex	Arlene	Alberto	Andrea	Arthur	Ana
Bonnie	Bret	Beryl	Barry	Bertha	Bill
Colin	Cindy	Chris	Chantal	Cristobal	Claudette
Danielle	Don	Debby	Dorian	Dolly	Danny
Earl	Emily	Ernesto	Erin	Edouard	Elsa
Fiona	Franklin	Florence	Fernand	Fay	Fred
Gaston	Gert	Gordon	Gabrielle	Gonzalo	Grace
Hermine	Harvey	Helene	Humberto	Hanna	Henri
Ian	Irma	Isaac	Imelda	Isaias	Ida
Julia	Jose	Joyce	Jerry	Josephine	Julian
Karl	Katia	Kirk	Karen	Kyle	Kate
Lisa	Lee	Leslie	Lorenzo	Laura	Larry
Matthew	Maria	Michael	Melissa	Marco	Mindy
Nicole	Nate	Nadine	Nestor	Nana	Nicholas
Otto	Ophelia	Oscar	Olga	Omar	Odette
Paula	Philippe	Patty	Pablo	Paulette	Peter
Richard	Rina	Rafael	Rebekah	Rene	Rose
Shary	Sean	Sara	Sebastien	Sally	Sam
Tobias	Tammy	Tony	Tanya	Teddy	Teresa
Virginie	Vince	Valerie	Van	Vicky	Victor
Walter	Whitney	William	Wendy	Wilfred	Wanda

表 3 大西洋海域の熱帯暴風雨の名前のリスト

※出典：NHC, “Tropical Cyclone Names”

## 2. 過去にフロリダ州に大きな被害をもたらした重大ハリケーンの例

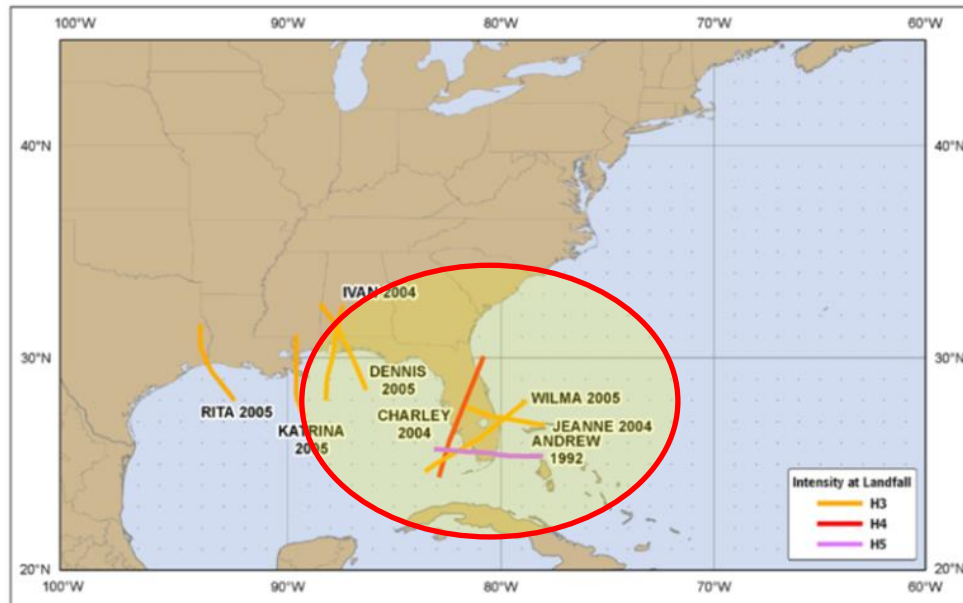


図 1 1 フロリダ州に上陸した重大ハリケーンの進路と勢力(1991～2010 年)

⇒ 線は、ハリケーンの進路とハリケーンの区分(色)を示す(橙＝3、赤＝4、紫＝5)。

※出典：NOAA Technical Memorandum NWS NHC-6, “The Deadliest, Costliest, and Most Intense United States Tropical Cyclones from 1851 to 2010 (and Other Frequently Requested Hurricane Facts)” の “United States major hurricane strikes (category 3 or higher), 1991-2000” 及び同 “2001-2010” (一部改変)

### (1) アンドリュー(Andrew)：1992 年

1992 年 8 月 16 日に西アフリカ沿岸部において発生した熱帯低気圧は、翌 17 日に熱帯暴風雨にまで発達してアンドリューと命名されましたが、当初は余り発達せず、20 日には一度消失しかけるまでに弱まりました。ところが、21 日にバミューダとプエルトリコの間付近において西に進路を変えた後から急速に発達し、22 日にはハリケーンとなり、23 日にはカテゴリー 4 のハリケーンとなりました。バハマを通過した際に若干勢力は落ちたものの、通過後には勢力を盛り返し、24 日にフロリダ半島のホームステッドにカテゴリー 5 の勢力で上陸し、同半島を横断しました。さらに西進してメキシコ湾に至った後、徐々に進路を北寄りに変え、ルイジアナ州中部にカテゴリー 3 の勢力を保ったまま上陸しました。その後は、北東方向に進行し、28 日には、アメリカ中部大西洋諸州に到達したところから温帯低気圧に変わりました。

アンドリューの上陸時の最低中心気圧(922mb)は、米国史上過去 3 番目(当時)となる勢力であり、観測機器が壊れたために南フロリダでの最大風速に関する公式記録は存在しないものの、マイアミ南東沖に位置する Fowey Rocks では、最大風速 142mph、最大瞬間風速 169mph を観測しました(その後、観測施設が破損)。アンドリューの影響により、上陸地点付近で約 5.2m の高潮が発生し、ルイジアナ州南東部では竜巻が発生しました。観測史上最も破壊的なハリケーンの一つとなったアンドリューによって、米国内で 23 人が死亡、265 億ドル相当の経済的損失(うち南フロリダ：255 億ドル)が生じました。フロリダ州では、被害の大半が暴風によって生じました。



### (2) チャーリー(Charley)：2004 年

2004 年 8 月 9 日にバルバドスの南南東 115 マイル沖において発生した熱帯低気圧は、10 日朝に東カリブ海において熱帯暴風雨に発達し、11 日にはジャマイカ付近においてハリケーンになりました。その後、ジャマイカ南西沖を経て 12 日にケイマン諸島の北東沖においてカテゴリー 2



に発達し、さらに北北西に進路を変えて発達し、最大風速 120mph のカテゴリー 3 のハリケーンとなってキューバ西部に上陸しました。チャーリーは、上空の風の影響を受けて速度を上げて北北東に進みながら急速に発達してカテゴリー 4 のハリケーンとなって、13 日 15 時 45 分ころ、最大風速 150mph 近くの勢力を伴ってフロリダ半島南西部の Captiva 島の北側に上陸し、その 1 時間後にはプンタゴルダを通過しました。さらに、オーランドやキシミー付近のフロリダ半島中部を通過した後、深夜にデイトナビーチ付近のフロリダ半島北東部から一度大西洋に抜けました。チャーリーは、14 日日中にカテゴリー 1 のハリケーンとなってサウスカロライナ州の沿岸に再上陸し、ノースカロライナ州南東部で熱帯低気圧に弱まり、15 日に温帯低気圧に変わりました。

チャーリーは、猛烈な勢力の一方で、フロリダ半島上陸時には非常に小型なハリケーンとなっており、降水量はそれほどでもなく、最大風速や 2.1m 程度の高潮の範囲は中心から 6~7 マイルの範囲にとどまりました。プンタゴルダやポート・シャーロットでは、猛烈な暴風によって甚大な被害が生じた上、竜巻が 16 個発生し、ハリケーンによる被害額としては米国史上 2 位となる 150 億ドル近くもの経済的被害と全米で死者 10 人の人的被害をもたらしました。

### (3) ジーン(Jeanne) : 2004 年

2004 年 9 月 13 日に Leeward 諸島付近において発生した熱帯低気圧は、14 日に熱帯暴風雨に発達して西北西に進行し、15 日に風速 70mph の勢力を伴ってプエルトリコに最接近した後、ドミニカにカテゴリー 1 のハリケーンとして上陸しました。その後、北に進路を変えて大西洋に出ましたが、西大西洋上空の気流が弱かったため、バハマ南東の北側海域に 5 日間とどまり、徐々に勢力を回復しました。23 日、米国北東部と西大西洋に発生した高気圧の影響を受けて、ジーンは西に進行して勢力を増し、25 日にはカテゴリー 3 のハリケーンとなってバハマのアバコ島、さらにはグランドバハマ島を通過しました。26 日早朝には、ジーンの目は幅 60 マイルとなってフロリダ半島南東部スチュアート付近に最大風速 120mph 近くの勢力を保ったまま上陸しました。ジーンは、フロリダ半島中部を横断するにつれて勢力を弱め、26 日午後タンパ付近において熱帯暴風雨に弱まり、27 日にはジョージア州中部において熱帯低気圧にまでさらに弱まりましたが、28~29 日にサウスカロライナ州、ノースカロライナ州、バージニア州に進んで激しい降雨をもたらした後、温帯低気圧に変わりました。

ジーンは、非常に激しい降雨を伴ったため、ハイチでは洪水や土砂崩れによって 3,000 人以上が死亡し、フロリダ州では 3 人が死亡、全米で 69 億ドル近くの経済的損失をもたらしました。

### (4) イルマ(Irma) 2017 年

2017 年 8 月末に大西洋上において発生し、9 月 5 日にはアンティグア・バーブーダ東方沖でカテゴリー 5 の超大型ハリケーンに発達しました。翌 6 日には最大風速 80mph の勢力を伴って米領プエルトリコ北側を通過し、同地域の人口の半数にあたる約 150 万人超が停電被害に見舞われ、同日中にはフロリダ州、プエルトリコ、米領ヴァージン諸島に非常事態宣言が発令され、米国史上で最大規模の警戒態勢となりました。イルマは、2 日間以上にわたって最大風速 82 mph を保つなど過去に例がないほど猛烈なハリケーンであり、8 日以降はキューバにも接近。同国にカテゴリー 5 のハリケーンが直撃したのは約 90 年ぶりと言われ、その後はカテゴリー 4 に勢力が若干弱まった状態でフロリダ州に接近上陸しました。10 日時点で勢力はカテゴリー 1 にまで弱まったものの、既に州内各地では、暴風雨や高潮による家屋の倒壊や道路の冠水・損壊など甚大な被害が発生しました。

イルマにより、米国内では死者 40 人（周辺国全体で 130 人以上）、フロリダ州をはじめ隣接のジョージア州やサウスカロライナ州を含め、計約 730 万戸が停電被害に見舞われ、またその被災総額の見積りは約 490 億ドルとされています。

### 3. 米国国立ハリケーン・センター(NHC, National Hurricane Center)

#### (1) 概要

米国国立ハリケーン・センターは、商務省の外局である国立海洋大気庁 (NOAA, National Oceanic and Atmospheric Administration) の一部門として、フロリダ州マイアミ市のフロリダ国際大学 (FIU, Florida International University) の敷地内に設置されており、災害をもたらす熱帯地方の気象に係る観測、警告、予想、分析を通じて人命の保護、財産的損失の軽減、経済的効率の改善を図ることをその任務としています。



#### (2) ハリケーン・センターの公表するハリケーン関連情報

ハリケーン・センターは、ハリケーンに関する様々な情報をインターネット等を通じて数多く公表しています。安全確保のためのハリケーン対策においては、同センターのホームページから確認することができる、以下のようなハリケーン関連情報等を活用すると効果的です (同センターのホームページのURLは、<http://www.nhc.noaa.gov/>)。



図 1 2 米国国立ハリケーン・センターのホームページ (トップ画面)

※出典 : NHC's Home page

ア 熱帯低気圧の進路予想図及び注意報・警報(Tropical Cyclone Track Forecast Cone and Watches/Warnings) ※ 画像情報

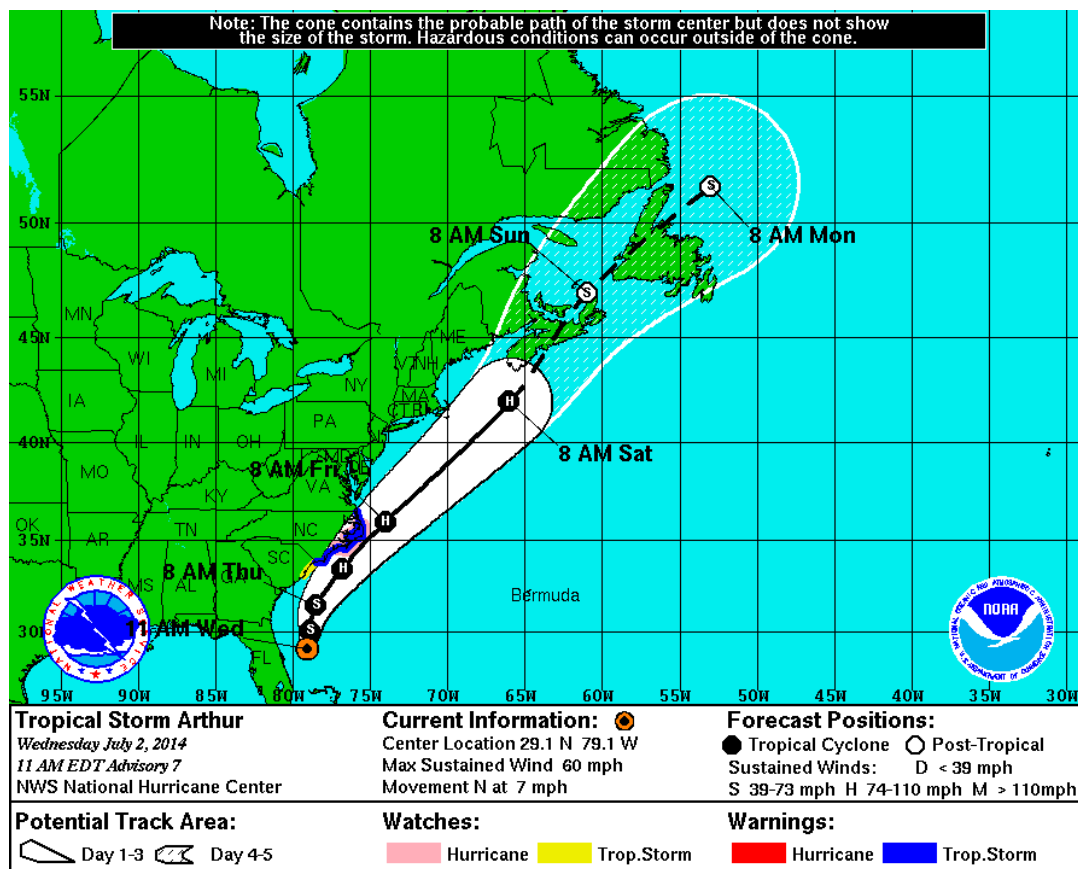


図 1 3 熱帯低気圧の進路予想図及び注意報・警報（見本）

※出典：NHC, “NHC Tropical Cyclone Graphical Product Descriptions”

～凡例～

- 橙色と黒の二重丸：当該ハリケーン・熱帯低気圧の中心地点
- 黒線(実線・点線)：同センターによる当該熱帯低気圧の予想進路(当該発表時点)
- 内の文字：「M」重大ハリケーン(Major Hurricane, 最大風速 111mph 以上)  
「H」ハリケーン(Hurricane, 最大風速 74～110mph)  
「S」熱帯暴風雨(TS, Tropical Storm, 最大風速 39～73mph)  
「D」熱帯低気圧(TD, Tropical Depression, 最大風速 38mph 以下)
- 赤色部：ハリケーン警報(Hurricane Warning)発令地域
- 桃色部：ハリケーン注意報(Hurricane Watch)発令地域
- 青色部：熱帯暴風雨警報(Tropical Storm Warning)発令地域
- 黄色部：熱帯暴風雨注意報(Tropical Storm Watch)発令地域
- 白色円錐部：1～3 日後に進行する可能性のある領域
- 白色網掛円錐部：4～5 日後に進行する可能性のある領域

※ 通常、大西洋海域のハリケーン関連情報は、6 時間毎(サマータイムの 5 時・11 時・17 時・23 時(サマータイム以外は－1 時間))に発表されます。



## イ 熱帯低気圧に関する一般注意報(TCP, Tropical Cyclone Public Advisory) ※ 文字情報

この注意報は、大西洋海域及び東太平洋地域の全ての(亜)熱帯低気圧に関して発表され、それぞれについて発令中の全ての注意報・警報が記載されています。また、当該熱帯低気圧の速度・進路、位置(緯度・経度、地上の特定地点からの距離)、当該地域の地上での1分間の平均最大風速(mph)、中心気圧(mb・inchies(予想値・観測値))といった情報が含まれており、当該熱帯低気圧に伴う波浪、降水量、竜巻等に関する情報が記載されていることもあります。

※ 通常、大西洋海域のハリケーン関連情報は、6時間毎(サマータイムの5時・11時・17時・23時(サマータイム以外は-1時間))に発表されます。さらに、沿岸部に注意報・警報が発令されている際には、3時間毎に中間発表が発出されるのに加えて、警報や熱帯低気圧に関する重要な変更がある際には、その都度、特別情報が発表されます。

### TCP Example

```
ZCZC MIATCPAT1 ALL
TTAA00 KNHC DDHHMM

BULLETIN
TROPICAL STORM ANA ADVISORY NUMBER    6
NWS NATIONAL HURRICANE CENTER MIAMI FL    AL012015
500 AM EDT SAT MAY 09 2015

...ANA TRANSITIONS TO A TROPICAL STORM WHILE IT MOVES SLOWLY
NORTH-NORTHWESTWARD TOWARD THE CAROLINAS...

SUMMARY OF 500 AM EDT...0900 UTC...INFORMATION
-----
LOCATION...32.4N 77.6W
ABOUT 105 MI...170 KM SSE OF CAPE FEAR NORTH CAROLINA
ABOUT 115 MI...190 KM SE OF MYRTLE BEACH SOUTH CAROLINA
MAXIMUM SUSTAINED WINDS...60 MPH...95 KM/H
PRESENT MOVEMENT...NNW OR 340 DEGREES AT 3 MPH...6 KM/H
MINIMUM CENTRAL PRESSURE...998 MB...29.47 INCHES

WATCHES AND WARNINGS
-----
CHANGES WITH THIS ADVISORY:

None.

SUMMARY OF WATCHES AND WARNINGS IN EFFECT:

A Tropical Storm Warning is in effect for...
* South Santee River South Carolina to Cape Lookout

A Tropical Storm Watch is in effect for...
* Edisto Beach South Carolina to South of South Santee River

A Tropical Storm Warning means that tropical storm conditions are
expected somewhere within the warning area, in this case within
12-24 hours.

A Tropical Storm Watch means that tropical storm conditions are
possible within the watch area, in this case within 24 hours.

Interests elsewhere in eastern North Carolina should monitor the
progress of Ana.
```

図 1 4 熱帯低気圧に関する一般注意報(見本)

※出典: NHC, "Example - Tropical Cyclone Public Advisory"

ウ 国立地方気象台の地方ハリケーン情報(HLS, Hurricane Local Statement) ※ 文字情報  
ハリケーンの影響を受ける可能性がある地域の各国立地方気象台が発表する情報であり、郡や行政区分上の地域に応じた

- ① 気象情報、注意報・警報
- ② 地方自治体の避難措置
- ③ 生命・財産等の保護に必要な予防策

等に関する詳細かつ具体的な一般市民向けの情報です。

### Local Statement for COLIN

```
360
WTUS82 KJAX 061007
HLSJAX
FLZ020>025-030>033-035>038-040-124-125-GAZ132>136-149>154-162>166-061815-

TROPICAL STORM COLIN LOCAL STATEMENT ADVISORY NUMBER 4
NATIONAL WEATHER SERVICE JACKSONVILLE FL AL032016
607 AM EDT MON JUN 6 2016

THIS PRODUCT COVERS NORTHEAST FLORIDA AND SOUTHEAST GEORGIA

**HEAVY RAIN AND SQUALLS FROM TROPICAL STORM COLIN TO INCREASE THROUGH TONIGHT**

NEW INFORMATION
-----

* CHANGES TO WATCHES AND WARNINGS:
- NONE

* CURRENT WATCHES AND WARNINGS:
- A TROPICAL STORM WARNING REMAINS IN EFFECT FOR
  SUWANNEE...COLUMBIA...BAKER...NASSAU...
  DUVAL...UNION...BRADFORD...CLAY...ST.
  JOHNS...GILCHRIST...ALACHUA...PUTNAM...FLAGLER...MARION...
  AND CHARLTON

* STORM INFORMATION:
- ABOUT 510 MILES SOUTHWEST OF JACKSONVILLE FL OR ABOUT 440 MILES
  SOUTHWEST OF GAINESVILLE FL
- 25.2N 87.4W
- STORM INTENSITY 50 MPH
- MOVEMENT NORTH-NORTHEAST OR 15 DEGREES AT 14 MPH

SITUATION OVERVIEW
-----

TROPICAL STORM COLIN CONTINUES TO MOVE NORTHWARD ACROSS THE
SOUTHERN GULF OF MEXICO. THE TROPICAL STORM WILL TRACK QUICKLY
NORTH AND NORTHEASTWARD TODAY...APPROACHING THE FLORIDA BIG
BEND AREA LATE THIS AFTERNOON OR EVENING. TROPICAL STORM COLIN IS
THEN FORECAST TO TRACK NORTHEAST ACROSS NORTHEAST FLORIDA AND
SOUTHEAST GEORGIA TONIGHT. TROPICAL STORM WARNINGS REMAIN IN
EFFECT FOR ALL OF NORTHEAST FLORIDA AND CHARLTON...CAMDEN...AND
GLYNN COUNTIES IN SOUTHEAST GEORGIA.

MINOR COASTAL FLOODING WILL BE POSSIBLE ALONG THE ATLANTIC COAST
AND THE ST JOHNS RIVER BASIN DURING THE HIGH TIDE CYCLE TONIGHT.
```

図 1 5 国立地方気象台の地方ハリケーン情報（見本）

※出典：NHC, “Local Statement for COLIN”

### (3) ハリケーン関連の注意報、警報

ハリケーン関連情報を利用する際に、以下のハリケーンに関連する注意報、警報の意味を事前に把握しておく、一層理解が深まります。

#### ア ハリケーン警報(Hurricane Warning)

(亜)熱帯低気圧(温帯低気圧に変化したものも含む。)の影響によって、当該地域において平均最大風速が 64 ノット(74mph, 119km/h)以上となることが予想(expected)される際に発表される警報です。実際に風が強まってからではハリケーン対策の準備が困難となることから、同警報は当該最大風速に至ると予想される時間の 36 時間前に発表されます。また、危険な高潮や高波が継続する際には、平均最大風速がハリケーンとして区分される勢力を下回ったとしても、継続して発令されることがあります。

#### イ ハリケーン注意報(Hurricane Watch)

(亜)熱帯低気圧(温帯低気圧に変化したものも含む。)の影響によって、当該地域において平均最大風速が 64 ノット(74mph, 119km/h)以上となる可能性(possible)がある際に発表される注意報です。実際に風が強まってからではハリケーン対策の準備が困難となることから、同注意報は当該最大風速に至ると予想される時間の 48 時間前に発表されます。

#### ウ 熱帯暴風雨警報(Tropical Storm Warning)

(亜)熱帯低気圧(温帯低気圧に変化したものも含む。)の影響によって、当該地域において 36 時間以内に平均最大風速が 34～63 ノット(39～73mph, 63～118km/h)となることが予想(expected)される際に発表される警報です。

#### エ 熱帯暴風雨注意報(Tropical Storm Watch)

(亜)熱帯低気圧(温帯低気圧に変化したものも含む。)の影響によって、当該地域において 48 時間以内に平均最大風速が 34～63 ノット(39～73mph, 63～118km/h)となる可能性(possible)がある際に発表される注意報です。

～以上～

### ※ 追記

この資料は、ハリケーンに関する日本語の一般向け資料が少ない中、フロリダ州に訪問・在留される邦人の皆様方にハリケーンの恐ろしさを認識いただき、実際の発生時には、決して過小評価することなく渡航を中止し、安全な地域に避難するなど安全対策を講じて被災を未然に防いでいただく目的で作成しました。公開情報の引用先である、米国立ハリケーン・センター(NHC)、気象庁、日本気象協会、宇宙航空研究開発機構等の日米各機関の関係者各位に感謝申し上げますとともに、利用者の方々には、かかる趣旨をご理解いただいた上で当資料をご参照いただけますと幸いに存じます。